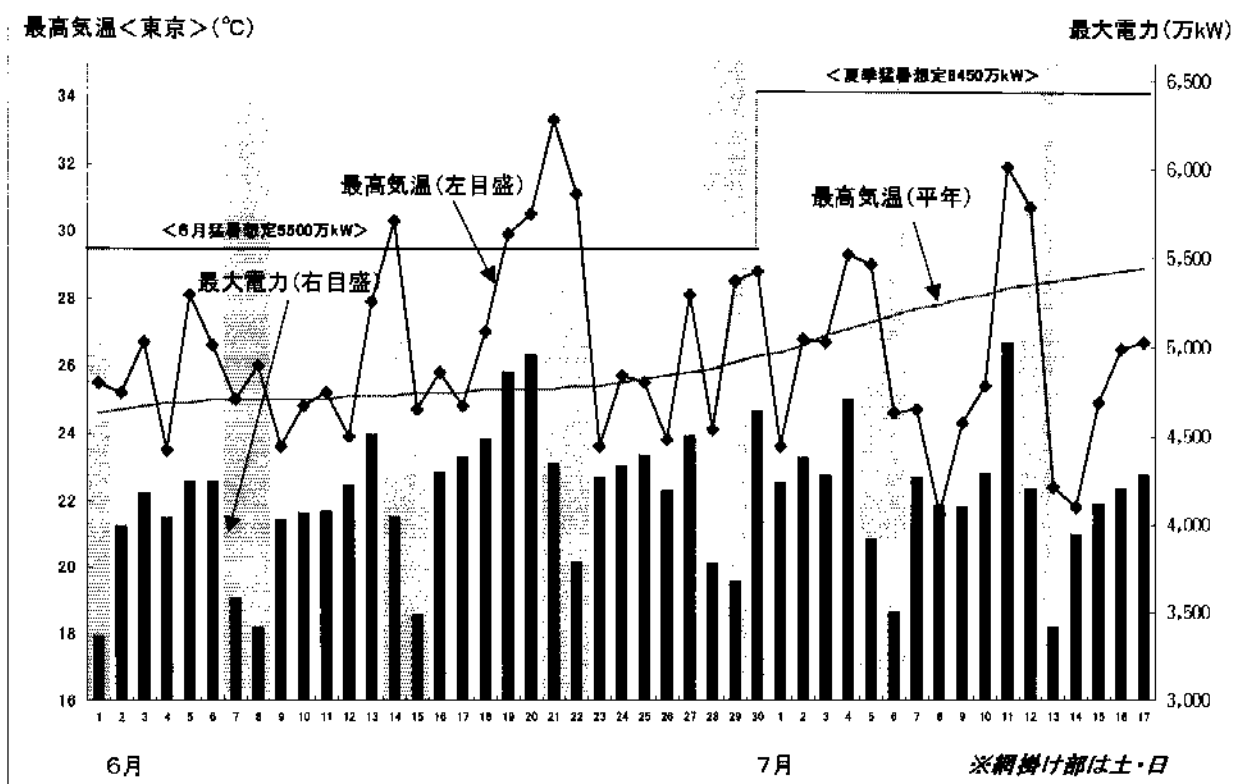


6～7月の最大電力発生状況（15.7.17現在）

○これまで最大電力発生の特徴

- ・ 6月の気温は、今年初めて真夏日となった6.14(土)（東京 30.3℃）以降、概ね平年を上回って推移していたが、30℃を超える高気温が土日に発生したことに加え、最大電力需要水準が高まる6月最終週（平日）は平年を下回る推移となった。
- ・ 7月に入っても、第1週から第3週にかけて梅雨空が続くことが多く、気温が平年を下回る水準で推移している。
- ・ こうした気象状況のもと、最大電力は6.20(金)に4,949万kWを記録したが、その後は、伸び悩みが続いている。
- ・ 現時点では、7月に入って初めての真夏日（東京 31.9℃）を記録した7.11(金)に発生した5,023万kWが今夏最大となっている。

○最大電力ならびに気温の推移



<6月の最大電力発生状況>

- ① 6.20(金) 15時 4,949万kW 30.5℃
- ② 6.19(木) 15時 4,857万kW 29.9℃
- ③ 6.30(月) 15時 4,639万kW 28.8℃

<最高気温の旬別平均>

	6月			月間	7月 上旬
	上旬	中旬	下旬		
今年	25.5	27.0	27.3	26.6	25.6
平年	25.1	25.2	25.4	25.2	27.5
前年	28.7	25.2	22.1	25.3	29.6

(*気温は東京地方の最高気温)

<7月の最大電力発生状況> (7.17現在)

- ① 7.11(金) 15時 5,023万kW 31.9℃
 - ② 7. 4(金) 17時 4,704万kW 29.3℃
 - ③ 7. 2(水) 15時 4,378万kW 26.8℃
- (*気温は東京地方の最高気温)

以上